

聞いて みました!



第一回 那覇市医師会の理事の皆様
地域の課題や問題、そしてこの那覇市がもつ可能性について、各業界の方々にお話を伺います

- ・予防接種について
- ・小児生活習慣病検診について
- ・在宅医療介護の連携について
- ・災害時防災マニュアルの策定について
- ・看護学校について

あらかき:山城 千秋 会長へ那覇市の医療に関わる課題についてお話を聞きたいと申しましたら、「理事会で理事の皆様から様々な意見をもらったらいよいよ」と、この理事会の冒頭で貴重なお時間をいただきました。本当にありがとうございます！
今年の7月には初当選をさせていただきましたので、那覇市議の立場として那覇の医療体制づくりや医療課題の解決にしっかりと取り組みたいと考えております。ぜひお話を聞かせてください。

【予防接種について】
宮城 政剛 理事: 予防接種については以前から話していますが、この数年でやっと那覇市からも予防接種の料金を上げていただけることになりました。まだ一部自費もありますので、もう少し上げていただくことで中部地区医師会と同じ金額になるようにお願いできればと思います。理由としては那覇市と他の市町村の金額が揃うと相互の乗り入れができます。

あらかき: 相互の乗り入れとは？

宮城 理事: 金額が同じになるとこの市町村でもお互いで予防接種が可能になるので、接種率が上がります。那覇市は金額が低く他と異なるので厳しい状況にあります。
例えば、住居が他市町村ですが職場が那覇市だから那覇市で予防接種を受ける、または逆もあります。利便性と接種率の向上ができればと考えています。

あらかき: なるほど、多くの他市町村住民が那覇市でお勤めなので、それができるようになると感染症などを防ぐことができるということですね！

【小児生活習慣病検診について】
白井 和美 理事: 沖縄県は2010年に女性の長寿

3位、男性30位という330ショック(先日発表された最新では女性が7位、男性36位…)などあり、長寿県沖縄と言われていましたが、健康の危機的状況です。子どもの肥満が大人の肥満につながると言われています。学校検診安全法の施行以来、子どもの成長曲線を個別に記録し、ひと目で痩せているか太っているかがわかり、指導がしやすくなっています。那覇市では約3300人の小4の子どもの約10%近く300人程度が肥満と言われます。

あらかき: 確かに、我々の両親の世代(現60代~70代)以下は生活習慣の変化で寿命が短くなるのではと言われてますよね。子どもの肥満も結構な数字でびっくりです!!(私も小学生時代はぽっちゃり体型でしたが 笑)

白井 理事: 対象児童に小児生活習慣病検診を行っていますが、現在の予算では集団検診しかできず、受診率が三分の一程度となっています。予算上、集団検診なので日程が決まっています、親の仕事の都合で日が合わない、予約しても当日キャンセルなど、200人ほどが受けていない状況です。これを大人の特定検診のように個別に受診できれば受けやすくなり受診率が上がることに繋がると考えます。

あらかき: 確かに個別受診できれば、お父さんやお母さんの空いている日に受けられるので、保護者の立場として嬉しいですね。進められるようがんばります！

【在宅医療介護の連携対策について】
長嶺 勝 理事: 現在、医師会と多職種連携ということで「ちやーがんじゅう課」が軸となって協議会を持っています。そこで案が固まると市へ提案するのでその際にお話しすることも出てくるかと思えます。少しお待ち下さい。

あらかき: はい、承知いたしました。その際にはぜひ真っ先にお声掛けいただければ嬉しいです。

【災害時防災マニュアルの策定について】
田名 毅 理事: 那覇市の担当は長嶺信治先生ですが、私は県の医師会の理事の立場で沖縄県の防災マニュアル策定に関わっています。県では早いうちから医師会が関わっています。しかし、那覇市からは声かけがないと聞いています。那覇市は中核市として周囲からも独立しているため、今後の防災、または

災害時には那覇市医師会との連携が必要です。特に避難所の運営で医師の役割は重要だと思います。だから、医師会へ防災マニュアルの策定の際には声かけをぜひともしていただきたい。

あらかき: 那覇市でもいつ何があるかわかりません。早いうちに担当に伝えておきます！

【看護学校について】
久志 篤子 那覇看護専門学校長: 現在、助成金や補助金が少しずつ削減されている状況です。医療人の育成についてぜひご理解をいただければと思います。また、市立病院において実習の受け入れなどを強化してもらえないでしょうか？そうすれば就職先の一つとしての意識が高まるのではないかと思います。いまは一部での受け入れはなされていますが、今後は増やしていただければ嬉しいです。

あらかき: そうなのですか！医療に限ってではありませんが、今はどの業界も人手不足ということですが、市民の生命の安全を担う医療人の養成については市としても考えなければならぬと感じました。ありがとうございます！

山城 千秋 会長: 今日のところはこのくらいですが、このように医師会に対して話を聞きにきてくれたのが嬉しいです。また、今後とも色々情報提供をしていきますので、たまには顔を出しに来てください。

あらかき: 本当に貴重な時間とお話をありがとうございました。少しでも前に進められるように努めます。

2017年12月8日(金)19時30分~@那覇市医師会会館



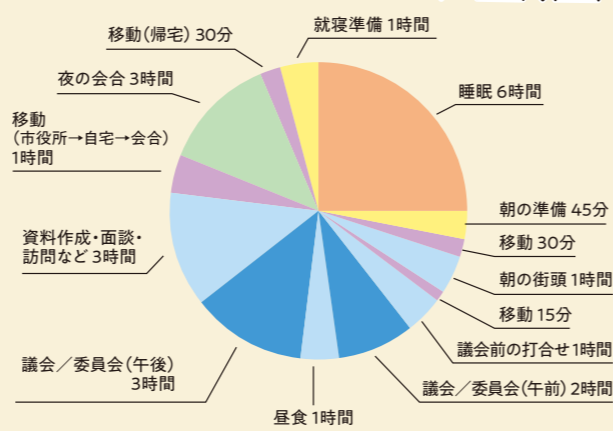
連載コラム 市議会議員のお仕事とは？

「市議会議員って何やってるの?」とよく聞かれるものですから、この紙面で少しでもお伝えしていきます。市議会議員の仕事とは「市民の意見を市政に反映させること」それに尽きます。
那覇市には40人の議員がいます。それぞれが那覇市に対して課題と考えていることや可能性について自らの考えを市民に伝え投票していただきました。当選した議員は議会の発言を通し、那覇市に対して市民としての意見を伝えていきます。意見や質問できる場所として「本会議」と「委員会」があり、そこが議員の主戦場です。
那覇市では6月、9月、12月、2月と4回の定例会があり、各1ヶ月程度です。その他にも臨時議会や委員会が開催されることもあります。議会では「人事」「事業の内容」「予算・決算(お金の

使い方)」「条例(地域でつくる法律のようなもの)」について話し合い決めていきます。市長や市役所の部署が「こんなことをしたい!」と提案しても議会を通らないと実行できません。その議会の日程ですが平成29年度に予定されている定例会の日数は82日です。参考までに私の9月定例会中のある1日のスケジュールをグラフにしてみました。では、残りの約270日は何をしていますのでしょうか?それはまた次号で!



ある1日のスケジュール 【9月定例会中】



那覇市議会議員 あらかき よしとよ 新垣 淑豊

Vol.01
2017 Dec

TaN

Think
Talk
about
Naha



創刊に際して
YOSHITOYO's Questions
~よしとよの議会報告~
特別対談 聞いてみました!
市議会議員のお仕事とは?

初めまして! 創刊に際してご挨拶

私のことをご存知の方も、またそうでない方も、この紙面を通しては「初めまして」になりますので少しばかり自己紹介を。1975年8月夏の盛り、琉球菓子を生業とする家(ちんすこう本舗新垣菓子店)に生まれました。
那覇市立城西小学校、沖縄尚学中・高を卒業後、県外の大学へ(国立信州大学)進みます。
菓業を継ぐことを考え、大阪あべの辻製菓専門学校で菓子作りの基礎を学びました。そこで洋菓子にハマリ同フランス校へ留学・研修、2001年に帰沖。
ラ シャルニエール 有限会社新垣菓子店の洋菓子部門として(La charnière 蝶つがい:「人と人」「菓子と人」を繋ぐ場としての意を込め、現在は閉店)菓子職人および店舗運営責任者として社会人生活を始めました。
その後は同社の人材教育や製造の効率化・標準化などに取り組みながら商品の企画・営業などを担当していました。それと同時に商店街、自治会、PTA活動を始めた地域活動や那覇商工会議所青年部、那覇青年会議所などで経済・教育の課題や地域活性化について取り組んだことがきっかけで政治の道へ進む決意をしました。

2014年に家業を離れ那覇市議会議員補欠選挙に立候補も落選…
縁をいただいた社会福祉法人に勤めながら老人・児童・障がい福祉について学びました。
そして本年、2017年7月の那覇市議会議員一般選挙で初当選!
4年間の任期で可能な限り市民の皆様と市政を近づけたい、市政についてお伝えしていきたいということで本紙を発刊することとなりました。
初めての仕事として洋菓子店をやっていた頃から、基本的な気持ちは変わることなく「人と人」「市民と那覇市」を繋ぐことができるよう精一杯励んでまいります。
TaNというタイトルは、~Think about Naha~ 那覇について考えよう、~Talk about Naha~ 那覇について話し合おう、そして接点という意味をもつラテン語の「Tangent」の初めの文字を使っています。
どうか、多くの皆様に目を通していただき、ご意見をいただければ幸いです。

那覇市議会議員

新垣 淑豊



議会で取り上げた質問について「なぜ?」その問題を取り上げたか「どのように」那覇市が考えているかなどをお伝えしていきます。

これからの那覇市ってどうなるの?

現在、那覇市では今後の10年間の方針となる「第5次総合計画」を作成しています。その中で「稼ぐしくみ」と「効率的で効果的な行政運営」という2点をとても意識しています。もちろん企業の商品力、人材力なども本当に大切ですが、行政の周辺環境整備も重要だと思えます。あと4年で第5次の沖縄振興計画も終了…その4年を含んだこの先10年の計画は市民にとって非常に重要です！那覇市の「狭い」を「コンパクトシティ」としてまとめ、「国内の他府県と海を隔てた遠い場所」を「日本でアジアへ一番近い場所」と考えるなど、欠点とされていたことを利点と捉えます。ムリ・ムダ・ムラをなくし、集中した効果的なお金の使い方をします。この数年内で市民会館、市場、市立病院、学校などの大きな公共施設の建設も予定されています。お金の使い方をしっかりと考えなければいけません。



待機児童問題どうなってんだ?

昨年度10月には全国2位だった待機児童も現在は認可保育園の設置を急ピッチで進めた結果、大幅に待機児童数が減りました。しかし「まだ保育園に入れない」という声もあります。待機児童のカウントの仕方もこれで良いのだろうか?ということを確認しました。例えば希望として1つの保育園にしか申請を出していない、市から指定された園ではなく別の園に行きたいと断った場合は「入所待ち」としてカウントされ「待機児童ではない」のです。実際はもっと多くの保育園の入所を待っている子どもと保護者がいます(平成29年10月時点の待機児童数は520人程度、平成29年10月25日入所選考の待ち人数1322人と数字にズレあり)病児・病後児保育をする園がない地域もあります。そして様々な障がいや支援を必要としている子どもたちへ対応をしている園に対しても配慮が不足しているという現状です。また保育士の不足や配置バランスがとれていないため本来預かることができる子どもの数を預かることのできない園、定員割れをしている園があることも明らかになりました。子どもたちの保育園充実のための施策を現場と共に考えて実行していきます。



お年寄りを支える環境はどうなんだろう?

那覇市に12カ所ある地域包括支援センター(お年寄りの介護や見守りなどについての相談ができる場所)が18カ所に増えます。現在よりも利用者の便は良くなり、1事業所の受け持つ範囲人数は減ります。しかし、これまで手が届かなかったところへ手を伸ばせるようになると対応は充実すれども業務が楽にはなりません。現在、ほぼ全ての事業所が赤字、他の部署の利益で穴埋めをしているそうです。かといって委託料は上がりず厳しい運営となります。そして1事業所に必要な職員数は同じ。5年間の委託事業なので、人件費の年次昇給に対応できず、介護事業の人材難を助長します。我々世代の介護離職を防ぐため、超高齢化社会を克服するためにも行政のバックアップは重要となります。



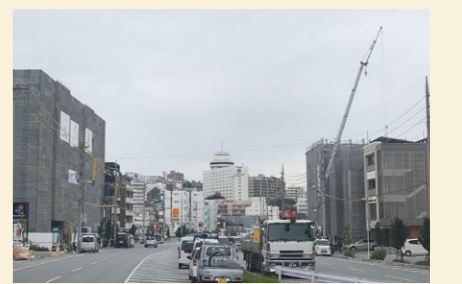
那覇から「まぐろ」がいなくなるって?

那覇の市魚は「まぐろ」なのですが、その「まぐろ」水揚げ県内No.1が泊漁港です。現在、①狭い、②古い、③衛生的不備、④耐震不十分と4点の課題を抱えています。平成28年度に補助事業で漁業組合が将来像構想策定報告書を作りました。しかし沖縄県は糸満市に泊市場を移転させたいということで、事業主体にはなりません…であれば実現には10年~15年かかる、埋め立て・護岸工事以外にも120億を要する規模の事業を漁協や漁業組合のみに委ねることができないので、実現には那覇市のバックアップが必要不可欠です。漁業関係者の高齢化も課題となっており、悠長な事は言ってもいられません。実現するのかしないのか?決断が必要です。県と正式に話をしないとのことですが、大至急!要望を伝える必要があります。



通学路の横断歩道と信号機欲しいです!

真嘉比小学校近く真嘉比松川線(おもろまち駅からサンエー真嘉比店の間)は500メートル近く横断歩道がなく、学区を分断していることから道を横切る児童も多いと相談がありました。市内でも優先順位の高い場所ということで那覇警察署も本部に要請をしているようです。市内各所にこのような地点があります。市から県に対して予算措置要請をお願いし子どもたちの安心安全な登下校を目指します。



国際通りの看板、大きくなって増えてます!

国際通りの歩道にある違法看板は大型化が進んでいます。周囲の店舗に負けじと数も増えてます。国際通りは歩きやすい通りを目指し歩道が広がられました。しかし最近では大型看板が通行を妨げ、視覚が悪くなることで危険度UP!看板が倒れたりして通行人が怪我をする、子どもが陰から飛び出し車や人にぶつかる可能性もあり、ルールに則り指導や整備をする必要があります。この課題は那覇市の観光課、道路管理課、都市デザイン室と3つの部署にまたがります。そして県の南部土木事務所や那覇警察署とも関連します。違法看板の設置を制限する「めんそーれ那覇市観光振興条例」は罰則がないため、違反者はスルー…それならば都市デザイン室に関わる「屋外広告物条例」などを活用することができないのかと他府県の事例を調査しています。商売は何でもありではなく、周りへの気遣いも必要ではないでしょうか。



一括交付金は欲しいだけ貰えて使えるのか?

平成24年~33年度まで予定されている沖縄振興一括交付金でこれまでも様々な事業が実行されて来ましたが、那覇市は今後、新文化芸術発信拠点(新市民会館)140億、牧志第一公設市場40億など大型プロジェクトを予定しています。平成29年度は那覇市の一括交付金が約37億円。平成30年度の一括交付金は減額もありえます。一括交付金ありきでの事業を考えると痛いことになる可能性が高い。関連の質問で新市民会館の維持管理運営費が《年間5億(うち赤字3.8億)》ということもわかりまして驚きました…建設費用だけでない、運営費用もしっかり考えて事業を行う、これ当たり前のことです。一括交付金を使うと他の事業に影響はないのか?未来の市民に負担はかからないのか?「今」十分な検討をしないといけないと思います。



体育館を早く完成させてほしい!

那覇市立城西小学校は体育館建設を始めたところ遺跡が発見される、周辺の保安上の整備など4年の月日が過ぎてしまいました。さらに近年の建設作業員の人手不足により想定よりも遅れているとのこと…児童の活動に対してすごい負担がかかってしまった4年間だったと思いますし、体育の授業だけでなく、学校行事も他の施設を借りるなど先生にもご苦労をかけています。この間に先生方の入れ替わりもあり事業の伝達も不十分。卒業式くらいはなんとか自分たちの学校で!との想いを込めて質問と要望をしました。引き渡し2月中旬との答弁をいただきましたので、施工業者さんと力を合わせて取り組んでいただこうと思います。



現市民会館を保存するのかしないのか?そして誰がきめるのか?

現市民会館は後世に残すべき現代建築という推薦をいただいているようです。外部専門家の意見をいただき検討することは必要だと思います。一方、新市民会館の候補地の選定時に外部の意見を取り入れなかったことが疑問視されています。何を基準としてこのような委員会を設置するのかを聞いてみましたが、残念ながら私が納得できる答えはありませんでした。なんでだろう??またの機会に聞いてみようと思います。

